

## 日本木材学会生物劣化研究会 2017 年秋季研究会(講演会)の開催報告

生物劣化研究会代表幹事(京大院農) 築瀬 佳之

2017 年秋季生物劣化研究会は、(公社)日本木材加工技術協会第 35 回年次大会(2017 年、兵庫)において、「木質資源の有効利用と加工技術の展望」をテーマとした 4 名の講師による公開講演会の後援として、平成 29 年 9 月 28 日、兵庫県民会館けんみんホールにおいて開催いたしました。以下、講演の概要を記載いたします。

### 公開講演 1

#### 1)「木の国ニッポンの資源ーセルロースナノファイバー」

京大大学生存圏研究所(教授) 矢野浩之氏

セルロース・ナノファイバーの高効率な製造法、製品への応用、将来の可能性拡大への展望について講演いただきました。

### 公開講演 2

#### 1)「不燃木材の現状と課題」

京都府立大学(特任教授) 伊藤貴文氏

政令で定める技術的基準を満たす不燃材料の施工事例を紹介され、その技術的な課題として吸湿性が低い、あるいは耐水性がある不燃薬剤の開発、薬剤使用量の削減、注入性の改善・薬剤分布の均一化についての研究開発について講演いただきました。

#### 2)「防火木材の生産技術と品質管理」

越井木材工業(株)(室長) 山口秋生氏

防火木材の生産工程とその品質管理について紹介された後、防火木材の使い方として実際の施工事例を紹介されました。また防火木材の課題の一つ「白華現象」をとりあげられ、その対策について講演いただきました。

#### 3)「木材を見せながら火災に負けない建築をつくる」

桜設計集団一級建築士事務所(代表) 安井 昇氏

「燃える⇨火事に弱い」、「燃えない⇨火事に強い」をキーワードとして、木材を見せながら、火事に負けない木造をつくるために考えておきたいことを、事例をあげながら講演いただきました。

お忙しところ貴重なご講演をいただきました講師の皆様、ご参加いただきました皆様に感謝いたします。また、2018 年春季研究会(講演会)は、第 68 回日本木材学会大会(京都大会)の会期中、3 月 16 日(金)の 13:30 から、「乾材害虫の木材・竹材への脅威について知る・考える(仮)」というテーマでの開催を企画しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。